

経済レポート

2017(平成29)年度 新入社員意識調査アンケート結果【大阪版】

～会社での居心地の良さを求める男性社員、今の会社を大切にしたい女性社員～

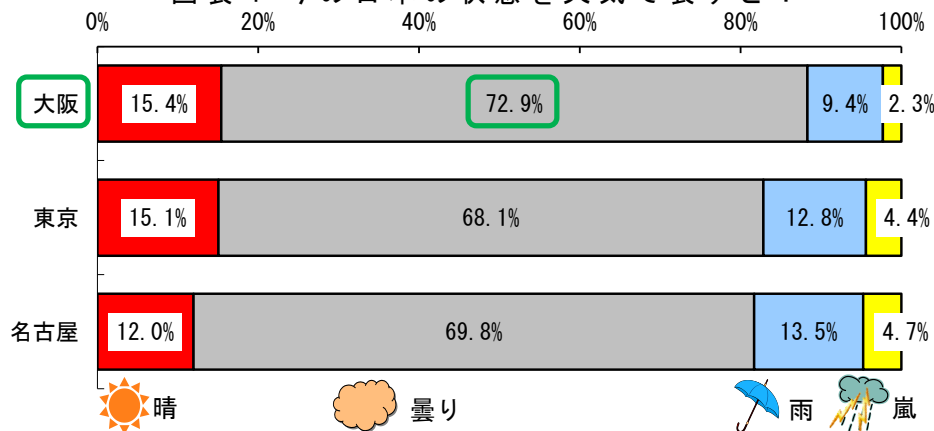
調査部 研究員 土志田 るり子

○日本の現状に対する見方は改善

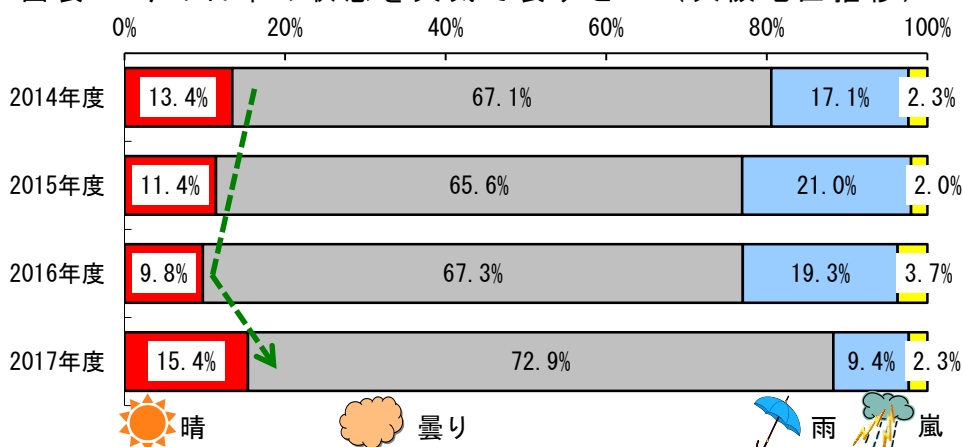
今の日本の状態をどう思うか新入社員に天気（晴、曇り、雨、嵐）で表してもらったところ、最も多く選ばれたのは「曇り」（72.9%）であった（図表1）。「晴」と答えた人の割合は15.4%で、東京（15.1%）や名古屋（12.0%）よりも高く、同時に、「雨」（9.4%）や「嵐」（2.3%）との回答割合は東京や名古屋より低かった。大阪の新入社員は他地域よりも日本の現状を明るいと判断している。

さらに、2014年度以降の推移を見ると、「晴」と答えた人の割合は増加に転じている（図表2）。また、「雨」の回答割合が前年から半減しており、新入社員の心理は過去と比べても改善していると考えられる。

図表1 今の日本の状態を天気で表すと？



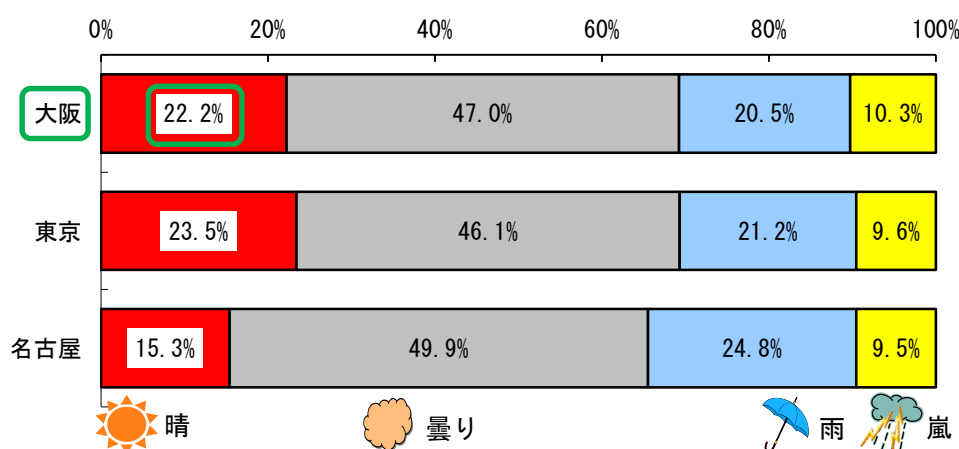
図表2 今の日本の状態を天気で表すと？（大阪地区推移）



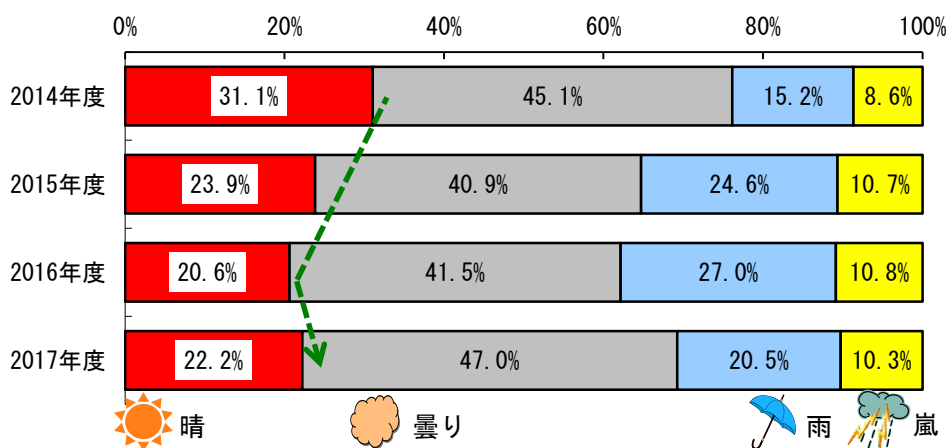
また、10年後の日本の状態についても尋ねたところ、最も多かった回答は「曇り」(47.0%)であったが、現在の日本の状態に関する質問と比べると、「曇り」の回答割合は低下している(図表3)。また、「晴」(22.2%)と答えた人の割合が「現在」より高い一方で、「雨」(20.5%)や「嵐」(10.3%)との回答も「現在」より多い。大阪の回答割合は東京とほぼ同じであるが、名古屋と比べると「晴」が高く、「雨」が低い。

過去からの推移を見ると、「現在」と同様、「晴」と答えた人の割合は2016年度からは上昇し、逆に「雨」や「嵐」の回答割合は低下している(図表4)。しかし、2014年度と比較すると、「現在」についてはより明るい見方となっている一方で、「10年後」については悲観的な見方が強い。

図表3 10年後の日本の状態を天気で表すと？



図表4 10年後の日本の状態を天気で表すと？(大阪地区推移)

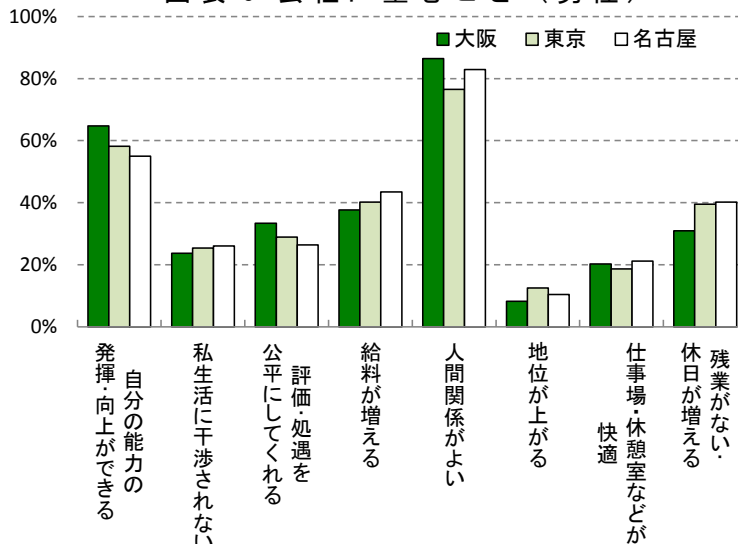


○会社での居心地の良さを求める大阪の男性

男性の新入社員に会社に望むことを上位3つまで聞いた結果、東名阪ともに最も多く選ばれたのは「人間関係がよい」で、次いで「自分の能力の発揮・向上ができる」であったが、いずれも大阪での回答割合が最も高い（図表5）。また、「評価・処遇を公平にしてくれる」も大阪で高かった。全国的な「自分ファースト」の傾向の中にあって、大阪の新入社員は会社での居心地の良さを大事にする傾向があるようだ。また、「給料が増える」や「残業がない・休日が増える」の割合が東京や名古屋よりも低く、大阪の新入社員は居心地が良ければ、多少は、生活の中で会社のウェイトが高くてよいと考えているとみられる。

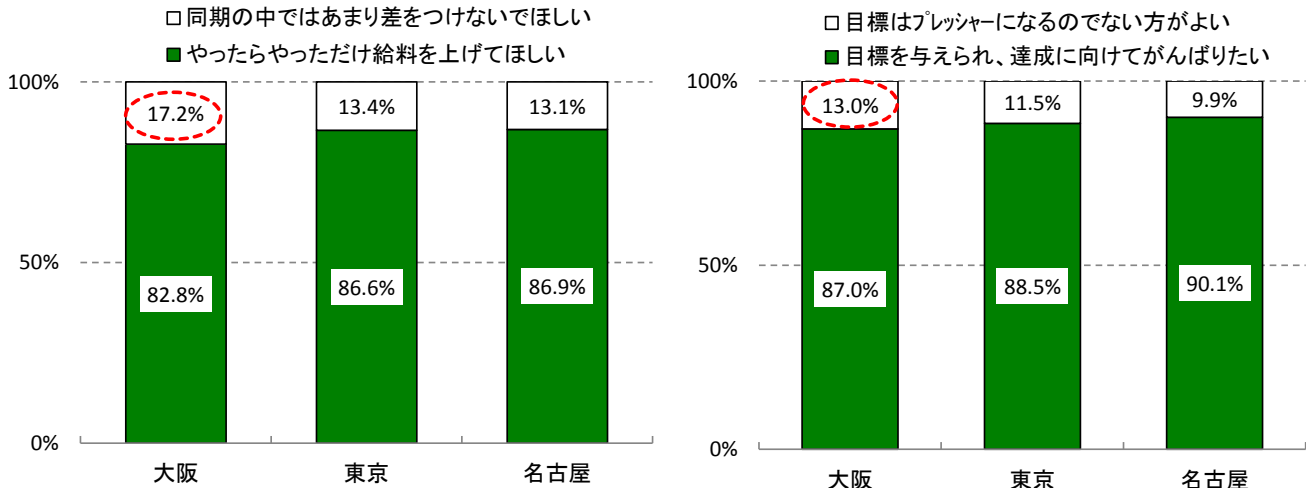
さらに、就労意識では、大部分は「やったらやっただけ給料を上げてほしい」と考えているが、「同期の中ではあまり差をつけないでほしい」という回答の割合が東京や名古屋と比べて高いほか、「目標はプレッシャーになるのでない方がよい」との回答もわずかに高めとなっている（図表6）。大まかな傾向は他地域と同じであるが、居心地の良さを求める中では競争やプレッシャーを避けたいという人もいるようだ。

図表5 会社に望むこと（男性）



(注)アンケートでは上位3つを順位づけしてもらったが、地域間の比較のため、ここでは1~3位のいずれかに選んだ人の割合をみる。

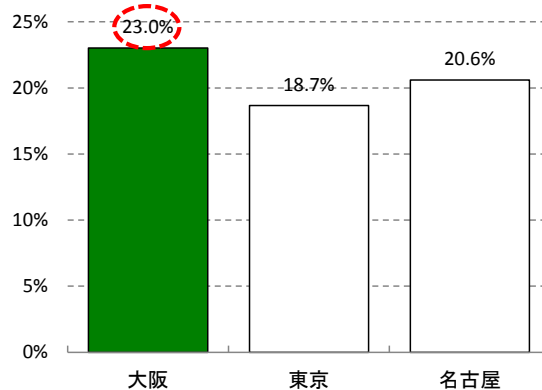
図表6 就労意識（男性）



## ○今の会社を大切にしたい大阪の女性

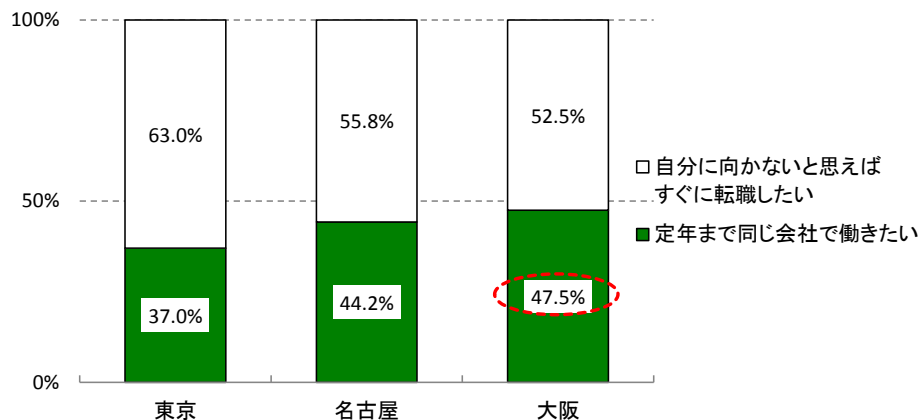
女性の新入社員に会社を選んだ基準を尋ねたところ、「雰囲気がよい」(51.8%)が最多で、続いて「仕事のやりがいがある」(33.8%)となった。この結果は東京や名古屋と同じであるが、3番目の「業績が安定している」を挙げた人が23.0%と、他の地域と比べて多かった(図表7)。また、「社会に貢献している」を15.8%が挙げるなど、自分の入る企業について、よく調べている様子がみられる。

図表7 会社を選んだ基準—「業績が安定している」(女性)



さらに、「定年まで同じ会社で働きたい」と「自分に向かないと思えばすぐに転職したい」のいずれか、自身の考えに近い方を選んでもらったところ、「定年まで同じ会社で働きたい」との回答が47.5%に上った(図表8)。過半数は転職も視野に入れているものの、東京や名古屋と比べると会社に対するこだわりが強いことも読み取れる。

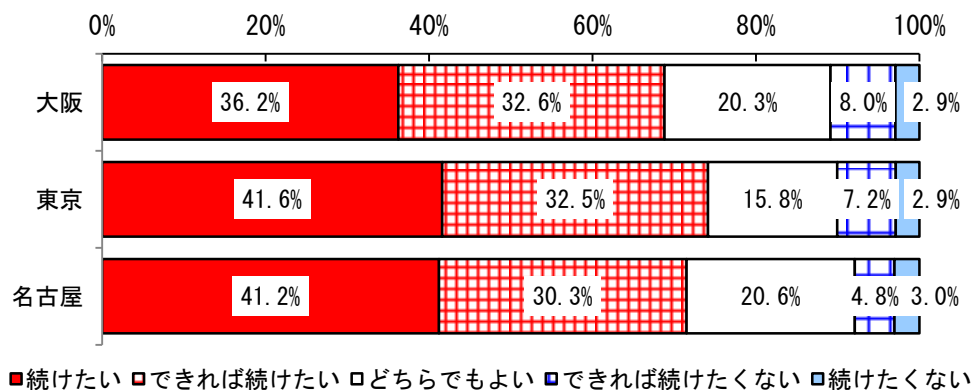
図表8 就労意識(女性)



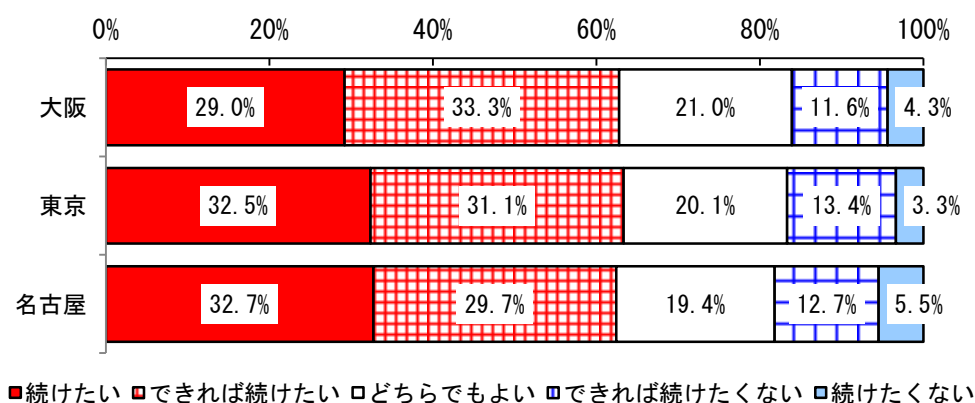
今の会社を大切にしたい大阪の女性であるが、結婚後も仕事を続けたいかという設問では東京や名古屋と比べて「続けたい」の割合が低い(図表9)。会社に対するこだわりはあるが、結婚前後ではその意識も変わると考えている人が多いようだ。

一方、子どもを産んだ後の就業について聞くと、「続けたい」と「できれば続けたい」という前向きな回答の合計は東京や名古屋と同水準であるが、そのうち「できれば続けたい」の比率が高く、周囲の理解や協力が得られるかという点で不安を感じている新入社員が多い可能性がある(図表10)。

図表 9 結婚後も仕事を続けたいか？（女性）



図表 10 子どもが生まれた後も仕事を続けたいか？（女性）

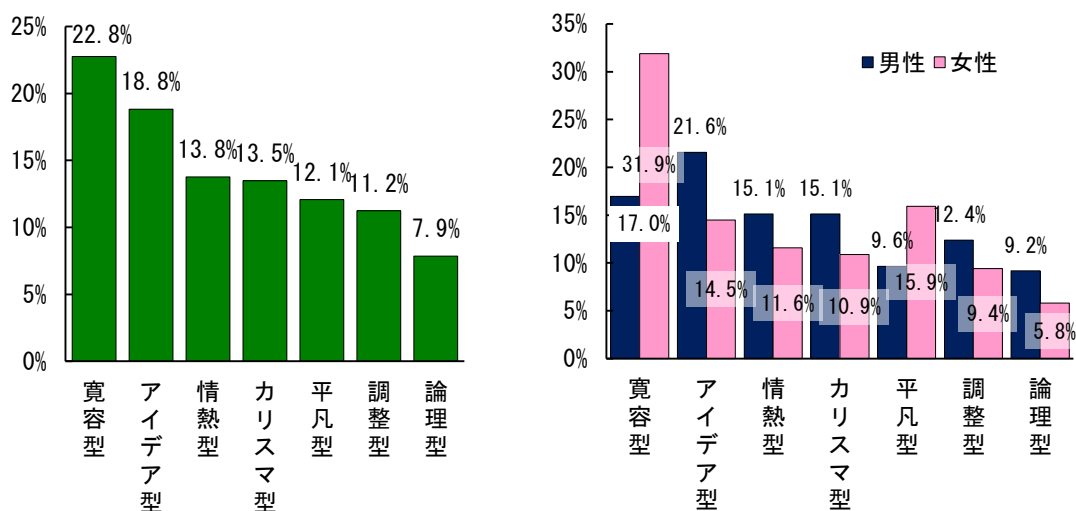


○理想の上司は「寛容型」だが、男性は「アイデア型」が1位

新入社員にとっての理想の上司を「寛容型」、「調整型」、「カリスマ型」、「アイデア型」、「論理型」、「平凡型」、「情熱型」の7種類から選んでもらった。その結果、最も選ばれたのは東京や名古屋と同様、「寛容型」となった（図表 11 左）。

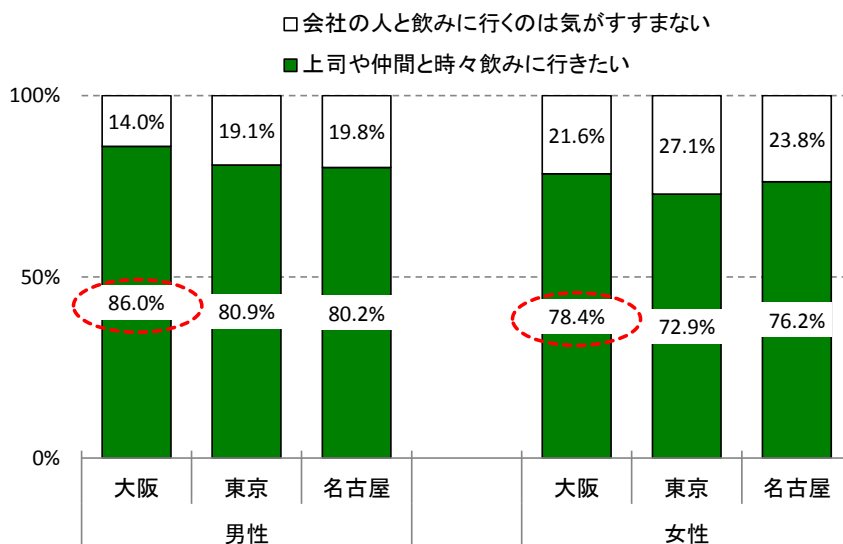
ただし、男女別で見ると、女性は1位が「寛容型」（31.9%）、2位が「平凡型」（15.9%）であったのに対し、男性では「アイデア型」（21.6%）が1位で、「寛容型」（17.0%）が続いた（図表 11 右）。女性からは広い心で優しく接してくれる上司や、適度な距離感で指導してくれる上司が比較的 support を集めているのに対し、男性からは寛容さを求める声がある中でも、ユーモアやアイデアのある上司が人気を集めている。

図表 11 理想の上司



寛容で、ユーモアやアイデアに富む上司や同僚とは、就業後のプライベートな時間であっても一緒に飲みに行きたいと考えているようだ。「上司や仲間と時々飲みに行きたい」と回答した人は、男性（86.0%）、女性（78.4%）とも、東京と名古屋より高かった（図表 12）。

図表 11 就業後の付き合い方



－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。